

## 令和 8 年塩尻市議会 3 月定例会市長総括説明

開会にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

令和 8 年塩尻市議会 3 月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、時節柄何かとご多用のところをご参集賜り、お礼申し上げます。

まず、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会に出場します塩谷吉寛（しおや よしひろ）選手について申し上げます。

来る 3 月 6 日に開幕します「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会」のパラアイスホッケー日本代表に、塩尻市出身の塩谷吉寛（しおや よしひろ）選手が選出されました。塩谷選手は、前々回の「平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会」に続き 2 回目の出場となります。

市を挙げて塩谷選手の活躍を応援するため、去る 2 月 9 日には市役所本庁舎に懸垂幕を掲げるとともに、2 月 13 日には塩谷選手ご本人に出席いただき、壮行会を開催いたしました。塩尻市出身の塩谷選手をはじめ、日本代表選手の皆様が、世界の舞台で存分に力を発揮されますよう心より応援申し上げます。

次に、本市の人口動態について申し上げます。

令和 8 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳の人口は 6 万 4 8 7 3 人となり、前年同月から 3 2 0 人の減少となりましたが、社会増減におきましては 1 3 3 人の

転入超過であり、昨年の45人と比べて社会増が大幅に拡大しました。

この社会増の要因は、大門地区での「ぶどうの郷ニュータウン」、高出地区での宅地分譲事業、宗賀地区では床尾地区の地区計画などにより新たに宅地が供給され、転入の受け皿となったためであると捉えております。

今後も、土地利用をはじめとした転入増加策につながる施策を推し進めるとともに、引き続き、市内外から選ばれる地域づくりを戦略的に進めてまいります。

次に、令和8年度予算案の概要について申し上げます。

令和8年度は、「第六次塩尻市総合計画」第1期中期戦略の最終年となる、極めて重要な一年であります。中期戦略に掲げた目標の達成と、本市が目指す都市像「多彩な暮らし、叶えるまち。一田園都市しおじり」の実現に向け、限られた経営資源の最適配分を行い、中期戦略の総仕上げを図る予算として編成いたしました。

まず、一般会計の予算案の概要について申し上げます。

歳入におきましては、「市税」で前年度比2.1%の増を見込むことに加え、「地方交付税」につきましても6.5%の増額を見込むほか、その他の財源につきましても精査し、積極的な確保に努めてきましたが、不足する財源につきましては財政調整基金等の繰り入れを行い、収支の均衡を図っております。

次に、歳出におきましては、第1期中期戦略の施策を着実に推進することは

もとより、「物価高騰」や「公共施設の老朽化対策」といった喫緊の課題への的確な対応のほか、子育てや教育環境の充実、地域経済の活性化、道路等の社会基盤整備など、市民の皆様の生活に直結する事業にも十分に配慮した予算配分としております。

また、去る市議会2月臨時会におきまして議決をいただきました「文化会館改修工事」の契約に基づく関連経費8億8300万円余を計上しております。その結果、令和8年度一般会計予算案の総額は、歳入歳出それぞれ334億円となり、前年度と比較して16億円の増額となっております。

なお、一般会計に四つの特別会計と二つの公営企業会計を合わせた予算の総額は、556億60万2000円となり、対前年度当初予算から14億3944万6000円の増額となっております。令和7年度からの繰越事業を含め、迅速な執行に努め、所期の目的達成に向けて着実に取り組んでまいります。

次に、幾つかの懸案事項等について、その進捗状況をご説明いたします。

最初に、昨年の市議会12月定例会においてお認めをいただきました物価高騰対策の進捗について申し上げます。

低所得のひとり親世帯に対する児童1人当たり1万円の特別給付金については、市が把握している児童扶養手当の受給世帯に対して、申請を不要とするプッシュ型で支給することとし、361世帯、児童529人分の給付金を去る2月10日に支給いたしました。

また、その他の低所得のひとり親世帯につきましては、1月15日から申請を受け付け、随時給付金を支給していくこととしております。特に物価高の影響を強く受けている子育て世帯の生活を支援するため、「物価高対応子育て応援手当」として、児童手当受給者に対して、対象児童1人当たり2万円を支給いたします。現在、手当の支給に向けて計画的に準備を進めており、3月上旬には対象者に通知を発送し、3月末から順次支給することとしております。

次に、令和8年度予算案に計上しました、物価高騰対策について申し上げます。

長引く物価高騰により、市民生活や地域経済は依然として厳しい状況に置かれております。こうした中、本市におきましても、国の令和7年度補正予算で措置されました「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を最大限に活用し、各種事業を令和8年度予算に計上し、速やかに対策を講じてまいります。

対策の柱となります主要事業といたしまして、全市民を対象に1人あたり6000円分の商品券を配布するための経費を計上いたしました。これにより、家計負担の軽減を図るとともに、市内での消費を喚起し、地域経済の下支えにつなげてまいります。

また、学校給食につきましては、国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」の実施に伴い、市内の公立小学校及び義務教育学校前期課程において、1か月当たりの国の支援額、5200円と給食費との差額については、市が全額公費負

担することといたしました。

加えて、中学校の給食費につきましては、食材費の物価高騰分の公費負担を来年度も継続することとし、保護者の皆様の経済的な負担軽減を図ってまいります。

また、長野県の「住民税非課税世帯エアコン設置促進事業補助金」を活用し、生活保護受給世帯及び住民税非課税世帯のうち、居住する住宅に稼働するエアコンがない世帯に対し、73000円を上限に、エアコン設置補助金を交付いたします。近年の猛暑による熱中症リスクを抑制するため、エアコン設置を促進し、健康維持と安心・安全な日常を確保いたします。

そのほか、物価高騰の影響を受ける「介護・障害福祉サービス事業所への支援」、さらに資金繰りを支援する「中小企業融資あっせん事業」への活用など、市民生活と事業活動を重層的に支えてまいります。

それでは、以下、主要事業につきまして、第六次塩尻市総合計画の基本戦略に沿って項目ごとに概略を申し上げます。

はじめに、「基本戦略A 未来共育」につきまして申し上げます。

「パートナーシップ・子育て」につきましては、病児・病後児保育事業では、これまで、松本市の病院内の保育施設4か所においてお願いしてきました「病児保育」と、市直営施設の「はぐはぐ」による「病後児保育」に加えて、去る1月13日、市内広丘郷原に「しおはら病児・病後児保育室」が新たに開設いたしました。

た。「しおはら病児・病後児保育室」の利用状況につきましては、2月18日現在で、延べ71人の利用があり、そのうち病気療養中の児童が延べ26人でありました。

民間医療機関のご協力により、この度、病気療養中から回復期まで一貫して市内で受け入れる体制が構築できましたので、引き続き、子どもたちの安全で安心な居場所を確保し、子育て家庭の仕事と育児の両立を支えてまいります。

「学校教育・学びの環境」につきましては、昨年、公共施設整備計画の策定に向けて市民アンケートを実施した結果、今後の学校施設のあり方に関する設問の中で、回答者の5割を超える方が、学校の再編・統合を「推進する」または「どちらかといえば推進する」と回答しております。

こうした市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、来年度には「学びと学校施設の最適化」を検討する審議会を立ち上げ、今後の学校施設の在り方について協議を進めることとしております。将来にわたり、児童生徒にとってより良い教育環境を構築し、質の高い学校教育を実現していくことを目指して、今後も審議会での議論を重ねながら、丁寧に検討を進めてまいります。

児童館・児童クラブの運営につきましては、来年度から入退館管理システムを導入し、業務のデジタル化を進めることとしております。保護者の皆様のスマートフォンを介して児童の入退館時間の共有や出欠席の連絡を可能とするなど、児童の安全管理の強化や保護者の利便性の向上と、保護者と職員双方の

負担軽減に繋げてまいります。

また、現在、檜川地区では、無料で「放課後児童教室」を運営しており、来年度からは、有料化となりますが、その他9か所の市内児童クラブと同様に、開所時間や利用要件などの拡大を図り、市内すべての施設で同一水準のサービスを提供する体制を整備いたします。

次に、「基本戦略B 共創循環」について、申し上げます。

「地域経済・産業・観光・就労」につきましては、本市の基幹品種でありながら、栽培面積の減少が続いておりますナイアガラ の苗木購入補助について、本年度から補助率を引き上げたことから、例年10本程度に留まっていた補助実績が、本年度は850本程度に増加することが見込まれており、大きな成果があったものと認識をしております。ぶどう栽培に限らず農業全般について、引き続き、産地維持と生産基盤の強化を図ってまいります。

本年度から本格的に着手しております「国土調査法第19条第5項指定制度」による地籍調査事業につきましては、広丘郷原の1.33ヘクタールについて、地権者全員の同意に基づき、公図と現況の境界不整合、所有者不一致などの解消に向け、年度内に不動産登記等の一連の手続が完了する見込みとなっております。引き続き優良農地の保全のため、地図混乱地域の解消に取り組んでまいります。

20回目という大きな節目を迎えます「塩尻ワイナリーフェスタ 2026」は、

本年5月23日、24日の2日間にわたり開催をいたします。

チケット販売につきましては、2月1日から「ワイナリーめぐりチケット」の塩尻市民先行販売を行い、200枚の販売枚数に対し293枚という多くの方々からお申し込みをいただきました。公開抽選を行いましたので、明日20日には当選発表をさせていただきます。

また、3月7日からは、一般向けのチケット販売がオンラインにて開始されます。市内外の皆様に本市の地域ブランド「塩尻ワイン」の魅力を存分にご堪能いただきますよう、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

「環境・気候」につきましては、各自治会が管理しているごみステーションの利用方法につきまして、昨年7月、8月の2か月間、市内6地区において地域の皆様との対話により、自治会に未加入の方のごみ出しの現状と課題を整理し、管理方法などについて検討を進めてまいりました。

昨年11月開催の区長会理事会において、「ごみステーション管理の手引書」の骨子案について各地区の意見集約をお願いし、いただいたご意見を骨子案に反映して、この度、「手引き案」として取りまとめました。3月4日開催予定の区長会理事会でご協議いただき、ご意見等を反映したうえで、市議会にもご報告させていただきます。

「協働参画・連携・行政運営」につきましては、官民間わず社会課題の一つとなっております。カスタマーハラスメントについては、本市では事前に予防し

ながら、組織的に対応していくための基準として、昨年11月に「カスタマーハラスメント予防・対応マニュアル」を策定いたしました。

本年1月からは窓口担当部署を中心に、オリジナル対策ポスターや卓上POPを掲示し、来庁される皆様にカスハラ防止の周知・啓発を行うとともに、去る2月10日には、全職員を対象にカスハラへの予防、対応などを習得する実践研修を実施いたしました。来庁される皆様には、分かりやすい説明と誠実な対応に努め、本市の取り組みへのご理解をいただき、継続的な行政サービスの向上に取り組んでまいります。

令和2年度から運用しております「クラウドファンディング型ふるさと寄附」などについて、本市を応援したいという寄附者の思いを実現するための事業に要する費用の財源に充てるため「ふるさと応援基金」を創設すべく、本定例会に条例改正をご提案いたしました。基金を財源とした事業の継続性の確保により、しおじり未来投資戦略に掲げる「チャレンジ」と「アクション」を推進してまいります。

次に、「基本戦略C 安心共生」について、申し上げます。

「地域社会・支え合い」につきましては、令和7年12月1日付けで民生児童委員が全国一斉に改選され、本市では、定数160人に対し、本日現在156人の皆様が厚生労働大臣の委嘱を受け、今後3年間、地域の見守りや相談支援などにご尽力いただきます。

また、2月6日には、昨年11月30日をもって民生児童委員を退任された84人の皆様に感謝状を贈呈し、その中には5期15年の長きにわたりご活躍いただいた方もおります。改めまして感謝申し上げます。

民生児童委員の担い手不足は全国的な喫緊の課題となっている状況を踏まえ、市としては、本年度から、「活動の負担軽減」や「推薦窓口の設置」などの支援強化を図ってまいりましたが、引き続き、処遇改善や支援体制の充実を進めてまいります。

「医療・介護・保健・福祉」につきましては、介護保険事業につきましては、令和8年度は、「第10期介護保険事業計画」の策定年度となります。

本市の介護・医療の現状と課題を把握するため、要介護・要支援認定を受けていない高齢者1000人と、在宅で生活をしている要介護・要支援認定者2577人を対象に、昨年11月に高齢者実態調査を実施いたしました。回答者2464人、回答率68.9%という、非常に多くの皆様にご回答をいただきましたので、今後、回答内容の分析を進め、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる「地域包括ケアシステム」の充実を図るべく、次期介護保険事業計画を策定してまいります。

国民健康保険事業では、長野県が示す標準保険料率と市の税率との差を、これまで段階的に解消してまいりました。令和8年度は、新たに社会全体で子育て世帯を応援するため、国の「子ども・子育て支援金制度」が開始されること

に伴い、その制度の納付金分を含んだ改定となっておりますが、加入者の皆様の負担に配慮しながら、保険税引き上げの激変緩和措置を講じ、本定例会に条例改正をご提案いたしました。

「まちづくり・インフラ・防災」につきまして、上・下水道事業では、事故を未然に防ぐ予防保全の視点に立ち、計画的に施設の点検・調査及び改築・更新を進めるとともに、大規模地震などの災害時においても安定的な機能を確保するため、施設及び管路の耐震化に向けた更新工事を着実に推進しております。

また、上西条浄水場再構築事業につきましては、管理棟の建設及び中央監視設備更新工事などの第1期工事が計画どおり本年度末に完了する見込みであります。令和8年度は、第2期工事として沈殿池の更新工事などに着手し、引き続き計画的な施設整備を進めてまいります。

近年、全国で消防団員の減少が課題となっていることから、本年度から、「ウェルカム女性団員等応援事業」を創設し、女性や子育て世代に対して、消防団の魅力向上を図ってまいりました。来年度は、「ウェルカム女性団員等応援事業」に加えて、新たに「ウェルカム女性団員等環境整備事業」を創設し、消防団詰所への更衣室の整備を図るなど、ソフト、ハードの両面から、女性や若者の新規入団者の促進と活動しやすい組織づくりを進めてまいります。

次に、今年度事業の進捗状況と決算見通しについて申し上げます。

令和7年度は、「第六次塩尻市総合計画」の中間年度にあたる重要な一年で

あり、長期戦略に掲げる「目指す都市像」や「未来のありたい姿」の実現に向け、各施策の具現化を着実に進めるとともに、変化する社会経済情勢や諸課題に対しましても、的確かつ柔軟に対応してまいりました。

事業の執行に関しましては、国の補正予算に呼応して前倒しで実施するものや、年度内の完了が困難と見込まれる事業につきましては、令和8年度への繰り越し措置を講じさせていただきますが、引き続き事業の早期完了に向け、切れ目のない執行に努めてまいります。

一般会計の決算見通しにつきましては、歳入において、前年度決算と比較して、市税及び地方交付税ともに増収が見込まれる一方、歳出においては、物価高騰の影響等により経費が増大し、依然として厳しい財政状況にあります。

しかしながら、将来の財政運営を見据え、財政調整基金の残高確保に最大限努めることで、健全な財政基盤を堅持できる見通しとなっております。

また、上・下水道事業の決算見通しにつきましては、黒字を確保できる見込みではありますが、物価高騰や人件費の増加などの影響により、前年度と比較して黒字額は減少する見通しとなっております。

今後も、業務の効率化や費用削減に積極的に取り組み、持続可能な安定経営の確保に努めてまいります。

以上申し上げまして総括説明といたしますが、本定例会にご提案申し上げました各議案の説明につきましては、副市長から申し上げますので、何とぞ、よ

ろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

最後に貴重なお時間をいただき、私ごとで大変恐縮でございますが、9月の任期満了に伴う次期塩尻市長選挙への対応について申し上げます。

私は、市民の皆様からの負託をいただき、令和4年10月に塩尻市長に就任して以来、マニフェストに掲げました「ともに支えあえるこころ豊かな地域」づくりや、第六次塩尻市総合計画に掲げる目指す都市像「多彩な暮らし、叶えるまち。－田園都市しおじり－」を基軸に、市政進展のため、市長の職務と責務に全力を尽くしてまいりました。

また、市政に臨む基本姿勢として、徹底した対話と現場主義を第一とし、市民や団体、企業の皆様との対話を通じて多くの声を伺い市政につなげていくこと、弱い立場の方々への配慮を優先することなどを掲げ、一人ひとりの幸せを実現すべく、市議会をはじめ多くの皆様のお力をいただきながら市政を進めてまいりました。

議員の皆様からも二期目への対応について、ご質問いただく中で、まずは、自分自身が、大好きな塩尻市の未来を描き、また、私を応援してくださる皆様のご意見を伺いました。

その結果、市民の皆様の幸福度をさらに高めていくために、そして、先人の皆様が築き、育てこられた、この塩尻市を未来につなげていくために、市民

の皆さまの負託をいただけるのであれば、引き続き、市政のために全力を尽くしてまいりたいと決意し、次期塩尻市長選挙に立候補することを、本日ここに、正式に表明いたします。

現在の市政は、人口減少、少子高齢化が加速する中、税収や人材の確保、改修・更新時期を本格的に迎える公共施設等の整備、物価高騰や人件費の増加による大変厳しい財政状況などの課題に直面しております。

このような状況下にあっても、第六次塩尻市総合計画の着実な実行、本定例会にご提案いたしました令和8年度予算案を責任をもって執行し、健全な財政運営を堅持しながら、諸課題の解決に向けて、「チャレンジ」と「アクション」を継続し、スピード感を持って施策を推進してまいりたいと存じます。

なお、具体的なマニフェストについては、後日、お示しをさせていただきます。

1期ではありますが、これまでの経験を生かし、未来への責任を果たすため、引き続き先頭に立って市政を進める決意でございます。御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

私からは、以上でございます。